



岐阜県の森林・林業

No.864

2025 September

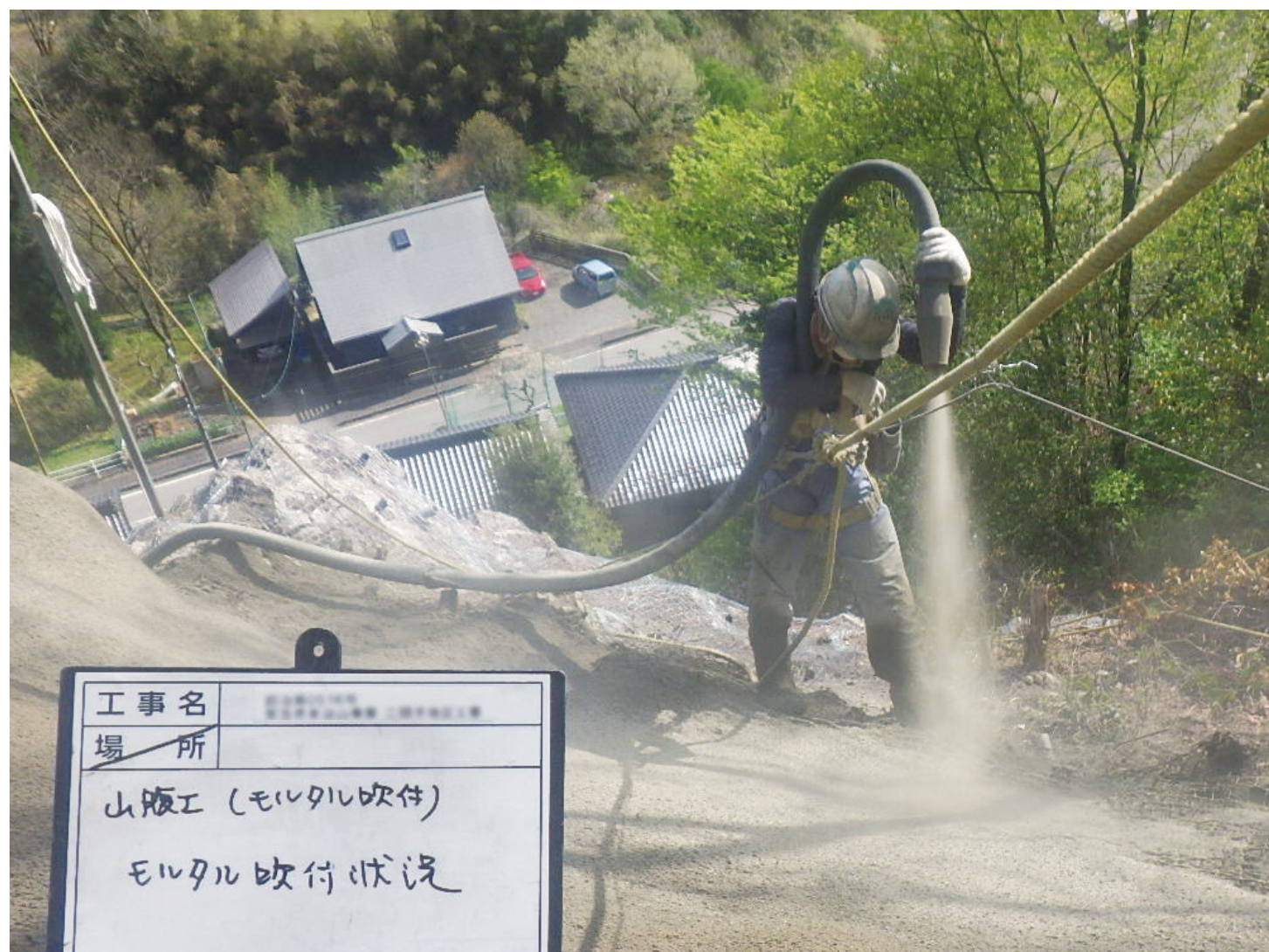
FREE

ご自由に お持ちください。



森のたより

県民の安全・安心を築く!
(治山事業)



工事名	山版工 (モルタル吹付)
場所	モルタル吹付状況

開催日	行事名等	内 容 等	場 所
			申込（問合せ）先／TEL
10月18日(土)	狩猟免許試験 (わな猟)	● 狩猟免許取得のための試験を実施します。 ● 時間：9:30～17:00 ● 申込：9/12～9/26 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	飛騨総合庁舎 大会議室 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 TEL：058-272-8231



Contents

2	イベントカレンダー(一般向け)
3	「ぎふ森フェス」に参加しませんか?
4	「第49回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を開催しました
5	ぎふ森のある暮らし会員紹介
6	地域の人 下呂の山をもっと知りたい
7	「緑化功労者」表彰おめでとうございます!
8	(公社)岐阜県山林協会 令和7年度定時総会開催
9	令和7年度治山林道工事コンクール受賞者のご紹介
10	保安林における制限 立木の伐採の制限
10	水源地域において、土地の売買等又は開発行為をする場合は事前の届出が必要です
11	山の歳時記(24) ヤマブドウ
12	ぎふ木遊館通信
13	morinos プログラム紹介!!
14	シリーズ「森林・環境税」で「緑豊かな清流の国ぎふづくり」(5)
15	木の香るぎふの施設(149) 公衆トイレ兼休憩所
16	森林と人を活かす知恵(152) つる植物の使い方 造林の厄介者を使う
17	研究コーナー
17	間伐が森林の水源かん養機能に及ぼす効果の検証(その3)
18	普及コーナー
19	令和7年冬季の降雪による雪害の発生とその対応について
20	森林技術開発支援センター 林業普及通信
21	国有林の現場から(107)
22	伊勢神宮 式年遷宮特集 御神木を取り巻く今昔 林業者向けお知らせ
22	市況

今月の表紙



写真は地上40mを超える崩壊斜面
にコンクリートを吹き付ける治山工
事の実施状況（現場：郡上市）。9月
は台風の多い時期、災害への備えを
しっかり行いましょう！



ぎふ森のある暮らし
推進協議会

「ぎふ森フェス」に参加しませんか？

森の中で、心と体をリフレッシュ！

岐阜県の豊かな森を舞台に、森林浴やクラフト体験、森ヨガなど、五感で楽しむアクティビティが満載の期間限定イベント「ぎふ森フェス」を開催します。ぜひご参加ください。

開催
期間

10月1日(水)~11月30日(日)

森で過ごす多彩な「時間」を
ご用意しました

岐阜・西濃エリア

鹿肉ジビエの解体体験

鹿肉の解体体験を通して森を守る取組、森林の大切さ、森に育まれた命の尊さなど「森のリアル」を学ぶ非日常体験です。



The First Glamp

～自然とちょっと良い時間を！～

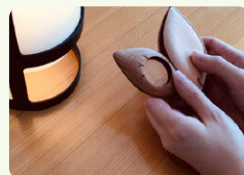
標高550mにある自然豊かなキャンプ場「揖斐高原キャンピングフィールド AFUREPPA」で、特別プランはいかがですか？食材のみのご用意で、誰でもお気軽に本格キャンプが楽しめます。



中濃エリア

世界に一つだけの『ルーベづくり』 (革ケース付)

クスノキの葉っぱを象ったクスノキの木材を紙やすりで削って、世界に一つだけの虫眼鏡を作ります。小刀や紙やすりを使ってレーザーで焼かれて焦げた部分を面取りしながら、自分だけのオリジナル作品が作れます。



小さな家「Kiidake」サウナ付き宿泊プラン

1日1組限定！アメリカが発祥とされる「タイニーハウス（小さな家）」を標高630メートル、大自然の中の贅沢な環境で、ゆったりとお楽しみいただけるサウナ付き宿泊プランです。



東濃エリア

なかつがわ森の木遊館と 裏木曽御神木の森 ウォーキングガイドバスツアー

普段は立ち入ることのできない国有林の中で伊勢神宮の式年遷宮斧入れ式跡や二代目大ヒノキ、高樽の滝といった大自然を特別に満喫できるウォーキングガイドバスツアーです。



地に眠る古木と浮かぶ根 ～アライダシ原生林の循環を辿る～

人の手がほとんど加わることなく、数百年にわたり育まれてきた、アライダシ原生林をガイドの案内のもとゆっくりと踏みしめて歩きます。現代では希少な生命の循環を視覚的に体感できる風景が楽しめます。



飛騨エリア

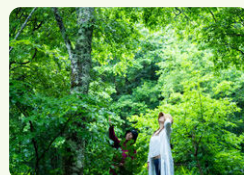
苔むす森を満喫する旅 (E-BIKE&ヨガ体験)

日本一の森林面積を有する高山市の大自然の中でE-BIKE（電動アシスト付き自転車）とヨガ体験の2つのアクティビティを体験できるガイド付きのツアーです。



薫る森でこころほどける癒しの森林浴

標高約1400mの日和田高原のオオシラビソやモミの香りが漂う苔むしたエリアで深呼吸。心を穏やかに整えていく体験が待っています。



この他にも魅力あるアクティビティが
たくさんあります！

申込
方法

お申込みはこちらの
Webサイトをご確認ください。



※「ぎふ森フェス」のアクティビティはすべて有料の「募集型企画旅行」となります。契約の内容や条件などをご確認の上、お申し込みください。

問い合わせ先

ぎふ森のある暮らし推進協議会事務局(岐阜県 森林活用推進課 森林サービス産業支援係)
TEL:058-272-8472 メールアドレス:c11513@pref.gifu.lg.jp

「第49回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を開催しました

8月7日に東海三県のみどりの少年団員47名が一堂に集い、「第49回東海地区みどりの少年団(隊)サマージャンボリー」を愛知県豊田市の「愛知県緑化センター」で開催しました。

岐阜県からは、海津市みどりの少年団、揖斐川町の北方小学校みどりの少年団、そして高山市から本郷小学校みどりの少年団の3少年団23名が参加しました。

日帰りの日程で開催され、全体を2班に分けて、午前と午後交互に「自然観察ラリー」と「楽しく学ぼう紙のリサイクル」を行いました。

自然観察ラリーでは、本館周辺で気に入った樹木の葉や枝などを採取しました。それを室内へ持ち帰り、器に並べて水に浸し、そこへモリゾーやキッコロの小さい置物も一緒に置いて「水のある風景づくり」に取り組みました。完成した作品はみんなで鑑賞して自由に感想を述べ合いました。

また、楽しく学ぼう紙のリサイクルでは、紙のリサイクルについてのお話を聞いたあと、古紙を使った手すきはがきづくりを体験し、資源の適切なリサイクルのための分別や資源の活用について学びました。

日帰りのため活動は限られた時間でしたが、体験を通じてみんなはすぐに仲良くなり、団員同士の絆や交流も深まり、夏休みの良い思い出になったと思います。

次回は、三重県での開催を予定していますので、県内からも多くのみどりの少年団の皆さんの参加を期待しています。



みどりの少年団
勢ぞろい



集合写真

葉っぱで舟づくり



自然観察

工夫して
作ってみよう



水のある風景づくり

どれも
すばらしい



作品の鑑賞会

わかったかな



紙のリサイクルのお話し

うまく
できるかな



手すきはがきづくり

[公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆]



県では、豊かな価値を有する森林空間を活用する「森林サービス産業」など、森林の新たな価値の創造を推進しています。
このコーナーでは、県内で「森林サービス産業」に取り組んでいる事業者の皆さんをご紹介します！

※「森林サービス産業」とは

山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出すため、森林空間を健康、観光、教育等の多様な分野で活用するサービス産業。その推進母体として、令和5年1月に「ぎふ森のある暮らし推進協議会」を設立

第4回 「株式会社 長瀬土建 & 株式会社 MGN」



背景

(株)長瀬土建は建設業者でありながら、20年前から林業に参入しています。事業活動の中で森林空間の付加価値に気づき、建設業や林業のノウハウを活かした森林空間活用で地域を元気にしたいとの想いが芽生えました。そしてこの活動には異業種との連携や未来を見据えた地域デザインが不可欠であると考えてきました。



活動を始めたきっかけ

そういった背景のもとで、我々が活動する高山市久々野地域では令和5年に観光の目玉であった市営スキー場が廃止となり、60年続いた観光・雇用・交流・教育などの場が無くなりました。地域住民からは自然資源などを活用した地域振興を求める声が上がる中、スキー場の建物や設備の一部の無償譲渡を受けた(株)MGNと(株)長瀬土建がタッグを組み、課題の解決に向けた取り組みをスタートしました。



どんな活動をしているのですか？

高山市久々野地域の豊かな自然資源とスキー場跡地や周辺公共施設などを活用し、地域振興策として森林空間アクティビティ体験プログラムを開発し、自主イベントやぎふ森フェスへの参加など年に7～8回程度ツアーを実施しています。ツアーは以下のフィールド・体験プログラム・その他を組み合わせで造成します。

【フィールド】

- ひだ舟山リゾートアルコピア ※スキー場跡地
- あららぎ湖（市管理公園）
- 無数河林道（アルコピア～あららぎ湖 片道6.2km）
- 周辺の森林資源

【体験プログラム】

- E-バイク体験（電動アシスト付き自転車）
- 森林浴体験
- ヨガ体験
- スノーシュー体験

※その他、湖面を活用したSUP、カヤック体験やテントサウナなどを開発中

【その他】

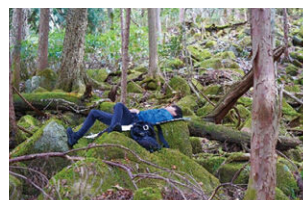
- 地場食材を使ったお弁当やスイーツ、ジュースの提供が可能
- 地元在住の通訳案内士や在留外国人との連携によるインバウンド受入体制の確保



E-バイク体験



ヨガ体験



森林浴体験

この地域の取り組みは令和7年2月に林野庁の「森林サービス産業推進地域」に登録されました。

- ホームページ (株)長瀬土建 <https://www.nagase-const.com>
(株)MGN <https://www.mugen.click/>
- 連絡先 (株)長瀬土建 0577-52-2233 nagasedoken@nagase-const.com
(株)MGN 0577-52-2202 arkopia.mgn@gmail.com

ぎふ森のある暮らし推進協議会では、県内で「森林サービス産業」に取り組んでいる/取り組もうとしている方を会員として募集しております。詳しくは下記までお問い合わせください。

TEL:058-272-8472 メールアドレス:c11513@pref.gifu.lg.jp

協議会HPはコチラ



地域の人



下呂の山をもっと知りたい

南ひだ森林組合

こばやし ともや
小林 智哉さん

今回は、下呂市の南ひだ森林組合を支える中堅職員、小林智哉さんをご紹介します。

森林組合を職場として選んだ理由は？

小さい頃から祖父に連れられてよく山に行っていました。大人が伐り倒した木をのこぎりで細かく刻んだりしたのを覚えています。山に慣れ親しんできたので、森林組合の仕事を選んだのも自然な流れでした。



G-クレジット登録証を手にする小林さん

今担当している業務は？

森林経営計画を作成したり、作業班の業務を管理したりというプランナー業務の他に、J-クレジット、G-クレジットの事務も担当しています。認証を取得するために、森林所有者や関係機関と



調整したり、書類を作成したりしています。まだ新しい制度なので、分からないことがあっても先輩には聞けず、自分で解決しなければならぬのが大変です。

森林組合の仕事の良いところは？

森林所有者の方々と会話することです。ご年配の方が多くて、昔の話、経験談、生き方など、色々な話を聞かせてもらえるのが面白いです。「大変だけどがんばってね」なんて声をかけてもらえることもあって、嬉しかったですね。職場の先輩たちも優しく、働きやすい環境です。

休日の過ごし方は？

スポーツ観戦が好きなんです。自分でも草野球をやっていますが、地元のチームに入っていて、ポジションはセカンド。ときには名古屋まで遠征試合に行くこともあります。

今後取り組んでみたいことは？

下呂市は広くて、半分以上の山はまだ行ったことがないので、もっと知りたいです。あと、職場のドローンをもっと活用していきたいと思っています。

森林組合に就職して11年目になりますが、毎日のように分からないことが出てきます。これからも日々勉強です。



子供たちの声援を受けて気合が入る小林さん

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0576-1521311 内線(217)

下呂農林事務所 林業課 森林整備係まで

祝

「緑化功労者」表彰

おめでとうございます！

中津川市 内木篤志さん

40年以上、地域の林業振興や森林文化の伝承、青少年への環境教育活動などに取り組んだ功績が評価され、令和6年度の（公社）国土緑化推進機構による「緑化功労者」表彰を受賞された内木篤志前加子母森林組合長さんにお話をお聞きました。

●まず受賞の感想は

大変光栄です。ただ多くの人に協力してもらい、一緒に取り組んできた活動が評価されたものと思っています。また推薦をいただいた県の皆さんにも感謝を申し上げます。



受賞者 内木さん

●組合に入ってきたきっかけは

19歳で林業青年研修所を修了後、最初はなぜか郵便局に勤めたのですが、研修所での恩師の勧めで半年後には木曾三川水源造成公社に替わりました。しかし今度は2年後、長男ということに加子母に戻ることにになり、役場にお世話になりました。7年間、林道担当などをやってましたが、最終的には当時の村担当の林業普及指導員からの「組合に來い」という強い誘いを断れず、嫁に内緒で役場を辞めて入ったのが経緯です。

◆組合時代の一歩の思い出は

昭和60年に作った「モクモクセンター」です。当時組合は苗木ぐらしか販売していませんでしたが、昭和56年にまず購買部を作り、林業資材の販売・修理などを開始後、センター開所を機に地元で加工した木工品なども幅広く販売し、国道257号の全線開通も相まって面白いように売れました。

さらに平成7年に作った木工体験施設「できたーハウス」との相乗効果で、物の交流だけでなく、名古屋や東京などまったく知らない地域の人との交流が拡大したと思う。今その成果で木製机や遊具を製作する木工事業が組合の柱の一つになった。

◆大切にしてきたことは

「組合員のための組合たれ」が信念でした。このため、1円でも多く組合員にお金を返せるよう何でもやりました。杭丸太販売、キャンプ場の運営、ヒノキ葉成分の抽出、ブリケット（木質燃料）製造などは今でも続いているし、Jークレジットは平成24年に取得した。失敗もあったが、100人中51人に認めてもらえれば「ヨシ」と思いつて来たし、やらせていただいたことに感謝します。

職員時代の思い出に残る取組

年	取組内容
昭和55年	組合職員
56年	購買部設置
60年	モクモクセンター開所
平成2年	木工所開所・加工事業開始
4年	キャンプ場運営開始
5年	小径木買取事業開始
7年	できたーハウス開所
10年	ひのき葉成分抽出事業開始
14年	ブリケット製造事業開始
16年	新規キャンプ場運営開始
19年	漆喰ボード事業開始
24年	Jークレジット取得
令和2年	組合長退任

◆苦しかったことは

組合の経営的には苦しい時期が結構あり、市場手数料のアップや職員の給料カットなど皆さんに大変協力していただきました。ただ、今は新しい組合長がしっかりとやってくれているので安心です。

●今後の森林づくりへの思いは

専務時代に組合の森林づくりの理念として「美林萬世之不滅（びりんばんせいこれをとやさず）」という言葉を作った。これは多様な樹木があり、そこには動植物に溢れ、豊かな水が育まれる森林を育て、守っていくという「美しい循環型の森林づくり」を意味しています。時代とともに林業施策も変わるが、美しく、そして明るい山を何時までも守ってほしい。最後に、年なのでそんなにできないが、涼しい時期には山に行き、間伐くらいはやっていきます。



林業教室での活動状況

編集委員

（公社）岐阜県山林協会

令和七年度定時総会開催

去る八月七日、岐阜市のホテルにおいて令和七年度定時総会を開催しました。



山内会長

開会にあたり、山内会長からは、「温暖化対策として高まる森林への期待に応えるため、「伐つて、使って、また植える」循環型の森林づくりを推進し、若返りによる二酸化炭素の吸収力の高い森林に再生する必要がある。一方で、住宅着工数は減少しており、加えて人口減少に歯止めがかからない中、将来的に木材需要の減少や森林整備への悪影響が懸念される。今後は林業の効率化のため、

スマート林業やサプライチェーンの構築、森林技術者の育成などを強力に進める必要がある。

さらに近年の集中豪雨などの多発や、能登半島地震のような大規模な地震発生の切迫性も指摘され、国土強靱化に対する要請は益々高まっている。協会としても、これら様々な課題をしっかり把握し、国や県に届けるため、要望活動などに積極的に取り組む。」と挨拶がありました。



江崎 岐阜県知事

続いて来賓の江崎岐阜県知事からは、「山の価値は昭和55年以降下がっ

ている。価値を高めるには林道が必要であるが、境界の調査済みの森林は23%しかなく、これが開設を阻んでいる。解決のためには、所有権を移管できる仕組みの構築が必要である。先般もこの課題を林野庁に提言したところで、同じ森林県の長野県とは連携して取り組むこととした。自然と共生した強い国づくりを進めたい。」と力強いお言葉をいただきました。



林野庁 山田 森林土木専門官

また、林野庁長官代理の山田整備課森林土木専門官からは、「多発する自然災害に対し、国民の安心・安全への要請は益々高まっている。六月に閣議決定した『第一次国土強靱化実施中期計画』に基づき、山地災害危険地区における治山対策などにきめ細かく取り組む。」とご挨拶をいただきました。県議会小原議長、日本治山治

水協会の北浦部長からもそれぞれご祝辞を賜りました。

その後の議事では、令和六年度事業報告と収支決算、令和七年度の会費の額など議案が原案どおり承認されました。

令和七年度 役員一覧

会長 山内 登（下呂市長）

副会長 藤原 勉（本巣市長）

可児 登（可茂森林組合長）

高井 峰好（学識経験者）
※専務理事を兼務

理事 林 宏優（山県市長）

岡部 栄一（揖斐川町長）

山下 清司（関市長）

山川 弘保（郡上市長）

佐伯 正貴（白川町長）

水野 光二（瑞浪市長）

小栗 仁志（中津川市長）

都竹 淳也（飛騨市長）

成原 茂（白川村長）

上川渡福雄（飛騨市森林組合長）

監事 石田 仁（大垣市長）

川邊 武（中津川市森林組合長）

神原 和義（岐阜県森林組合連合会 常務理事）

なお、各部門の最優秀表彰者は（一社）日本治山治水協会・日本林道協会主催の全国治山林道工事コンクールに岐阜代表として推薦します。



山林協会会長賞の受賞者



知事賞の受賞者（東白川村長）

また、総会に先立ち令和七年度治山林道工事コンクールの最優秀・優秀の受賞者七名に賞状と副賞の授与が行われました。受賞の皆様誠にありがとうございます。

令和7年度治山林道工事コンクール受賞者のご紹介

最優秀



写真1

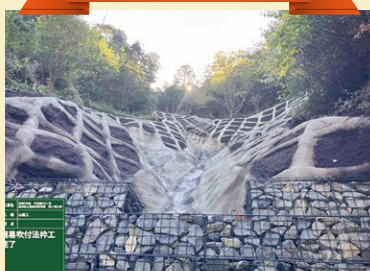


写真2



写真3

優秀



写真4



写真5



写真6



写真7

■受賞者一覧

部 門	表彰区分	表彰者	写真番号	工事名（路線名）	受 賞 者 名
林道維持管理	最優秀	岐阜県知事	①	林道加茂東線	東白川村
	優秀		④	林道川向線	恵那市
治山工事	最優秀		②	流木防止総合対策事業 薄ヶ洞工事	株式会社横田工務店（関市）
	優秀		⑤	公共復旧治山事業（ゼロ国）樋口地区工事	株式会社大清（下呂市）
	入選			県単治山事業 上加納山・芥見6丁目工事	寺嶋建設株式会社（岐阜市）
	入選			復旧治山事業 湯口地区工事（補正）	株式会社桐山組（大垣市）
	入選			県単治山事業 三ツ石地区工事	丸八建設株式会社（郡上市）
	入選			公共予防治山事業 大切工事	株式会社栗山組（坂祝町）
	入選			公共復旧治山事業（0国）出ヶ谷地区工事	付知土建株式会社（中津川市）
	入選			公共復旧治山工事（大久手）	大山土木株式会社（高山市）
	入選				
林道工事	最優秀	山林協会会長	③	公共林道開設工事（尾城山線2-1、2-3工区）	株式会社立保（東白川村）
	優秀		⑥	林道三倉～上ヶ流線（久瀬工区）開設工事	株式会社ヤマモト（揖斐川町）
	入選			林道二間手～水沢上線（2-2工区）開設工事	西脇建設株式会社（郡上市）
	入選			森林基幹道 三森山（1）線開設工事	株式会社佐々木工務店（中津川市）
林道木材使用工事	優秀		⑦	森林基幹道 尾城山（5）-2線開設工事	恵那農林事務所林業課

保安林における制限

～立木の伐採の制限～

必ず事前の手続きが必要です

保安林とは、水源のかん養、土砂の崩壊・流出の防備、その他生活環境の保全・形成等特定の公益目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定された森林です。

保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制されています。

立木の伐採の制限については以下のとおりです。

[立木の伐採の制限]

保安林内の立木の伐採をする場合は、許可又は届出など事前の手続きが必要です。

また、皆伐を行う場合は、伐採現場に伐採旗の設置が必要となります。

詳細は、所管する農林事務所にお問い合わせください。

伐採方法		手続き方法	手続期間	提出先
主伐	択伐	天然林は許可が必要	伐採を開始する日の30日前までに申請	所管する農林事務所
		人工林は届出が必要	伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	所管する農林事務所
	皆伐	許可が必要	皆伐限度面積の公表の日(年4回)から30日以内に申請	所管する農林事務所
間伐		届出が必要	伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	市町村

注意事項

- (1) 伐採が禁止されている保安林があります。
- (2) 主伐(択伐・皆伐)は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢に満たない立木は伐採できません。
- (3) 皆伐限度面積の公表の日は、2月1日、6月1日、9月1日、12月1日(これらの日が休日の場合は、その翌日。)の年4回です。
- (4) 間伐は、樹冠疎密度(林地面積に対する立木の樹冠投影面積との比率)が80%に達していない森林では行うことはできません。

●詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-1111](tel:058-272-1111) 内線(4413または4414) 森林保全課森林管理係まで

水源地域において、土地の売買等又は開発行為をする場合は 事前の届出が必要です

岐阜県の豊かで清らかな水は、県民の財産です。

この水を後世に引き継いでいくためには、その源である水源の保全に取り組んでいく必要があります。

岐阜県では、水源地域の保全のために土地が適正に利用されることなどを目的として「岐阜県水源地域保全条例」を制定しています。

条例に基づき、令和7年7月末現在、22市町村、276箇所、約6万8千ヘクタールの森林が水源地域に指定されています。

水源地域に指定された土地の売買等を行う場合には、その契約の30日前までに県への届出が必要です。

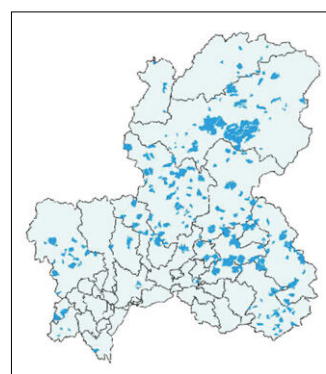
また、1ha以下の開発(林地開発許可または保安林内作業許可の対象となる開発を除く)や、建物等の設置、水を採取するための設備の設置を行う場合は行為を行おうとする60日前までに県への届出が必要です。

水源地域の位置や届出の詳しい内容は、岐阜県ホームページでご確認ください。

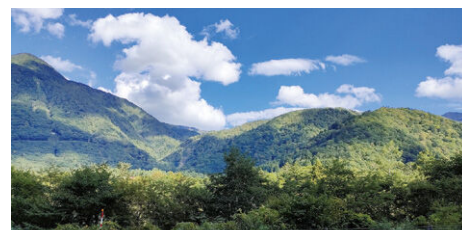
岐阜県水源地域保全条例

検索

この条例は、水源林が私たちの知らないうちに売買されたり、違法に伐採・開発されたりすることを防ぐために重要な役割を果たしています。その趣旨をご理解いただき、事前の届出にご協力をお願いします。



水源地域の指定状況



水源林(高山市奥飛騨温泉郷平湯)

●詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-8496](tel:058-272-8496) 岐阜県林政部森林保全課水源林保全係まで



実り多き9月、毎年この時期に収穫予定のヤマブドウの結実状況を確認し、10月下旬からの収穫に備えます。

ヤマブドウ (*Vitis coignetiae*) の葉は五角形で長さ幅とも10〜30cmと大きく、基部は深く切れ込み、葉の裏側は赤褐色のフェルトのような毛で覆われています。果実は直径8mm程度と小さいものの、少しの渋みをとまなう酸味と甘味が魅力です。これが1回霜にあたる

と、どういう訳か渋味や酸味は消えて甘味だけになります。

ヤマブドウの蔓は、先が2つに枝に分かれたした巻ヒゲを樹木などに絡めて登りますが、巻ヒゲの出し方には規則性があります。最初は茎から小枝を対生させ、その1節目は葉のみ、2、3節目は巻ヒゲと葉を対生させ、4節目はまた葉のみで、5、6節目は巻ヒゲと葉を対生させるという繰り返しです。

アイヌの人々はマス(鱒)の刺身を食べる時に、未熟なヤマブドウの果汁と海水と山椒の葉を混ぜ合わせて調味料として利用したそうです。一般的には果実をそのまま食べるよりも、ジャムやジュース、自家用ワインに加工されることが多くありました。

しかしブドウ属の果実は醸造酒、浸漬酒(リキュールなど)も酒税法で禁止されており、自家用にヤマブドウの果実をホワイトトリ

カーに漬け込むことさえ違法なのです。近年、特にヤマブドウのポリフェノールが注目され、ガン組織などへの抗腫瘍作用に関心が集まっています。密造には手を染めないよう気をつけて下さい。

ヤマブドウの蔓の内部繊維は強靱で、一度ねじってから利用すると綱の代用になります。また表皮は細く剥いで履き物や編み袋、カバンなど生活用具を作るのに用いられました。

栽培ブドウの原産地は中央アジアと考えられ、世界最古のメソポタミア文明が発生したイラクのティグリス・ユーフラテス川流域で、シュメール人が発展させたワインの醸造技術が紀元前1000年頃にブドウ栽培技術とともにギリシャに伝播したそうです。

旧約聖書「創世記」第九



そろそろ熟し始めたヤマブドウ

章には、大洪水の後に箱船から出たノアは農夫になってブドウ栽培を始め、ワインに酔いしれた事が記されています。つまりワインは神と人を喜ばせる飲み物で、この考え方が中世キリスト教にも引き継がれたのです。

修道院がブドウ園とワインを独占して儀礼における重要性を増したのは、日本の神道でも御神酒(どぶろく)を使うことと通ずるものがあるのかもしれませんが。

ぎふ木遊館通信

<ぎふ木遊館は5周年を迎えました!>

7月17日(木)にぎふ木遊館は5周年を迎えました。当日は関係者を招き、午後から記念式典を行う予定でしたが、天候の急変により中止となりました。

残念ながら式典は開催できませんでしたが、当日午前の第1部に伊藤智美さんによるギターライブを行っていただきましたので、その様子をお伝えします。

伊藤智美さんは下呂市出身のギタリストで、令和3年からオータムフェスタ等でぎふ木遊館にお越しいただいています。また、昨年度はぎふ木遊館のうた「ヒツパタゴ」の作曲をしていただきました。



演奏中の伊藤智美さん



奥様の伊藤花野さんの歌とご一緒に

演奏会当日は、奥様の伊藤花野さんの歌と一緒に「にじ」(作詞/新沢としひこ、作曲/中川ひろたか)、「こどもがいっぱいわらってる」(作詞・作曲/村下孝蔵)、「思い出の中で」(作曲/伊藤智美)等を演奏していただきました。

昔聞いたようなどこか懐かしいメロディに、子どもも大人も一緒に歌い、手拍子をして来館者の皆様と演奏会を盛り上げました。

また、今回の式典には岐阜県のマスコットキャラクターであるミナモも来てくれました。式典の中止にミナモは残念がっていましたが代わりに当館の大型木製遊具で遊んでもらいましたので少しだけご紹介します。



木遊山(滑り台)で楽しんでいます。
子どもに大人気の遊具のひとつです。



清流木玉プールでひとやすみ



クーゲルバーンで木の玉を転がしています。
さとやまさんが作った
祝5周年の文字にも注目です!

<ぎふ木遊館の大型木製遊具たち>

ぎふ木遊館には大型木製遊具が10種類あります。今回は木育ひろばの北側に設置された森の砦(とりで)と清流ウォールをご紹介します。

森の砦は木育ひろばのテーマでもある「飛山濃水」を見渡せる展望台として配置されました。展望台から木の实に見立てた玉を転がすと、階段状の木琴が素敵な音を奏でます。

清流ウォールは「世界農業遺産 清流長良川の鮎」をテーマにアユや岐阜の名所を表現した木製のモチーフを貼り付けて、流域の営みを演出しています。

これらの2つの大型遊具は令和2年の開館当初から「展望エリア」として設計され、今現在でも館内全体を見渡せるエリアとなっています。





やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介!!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（morinos）は、森や山など自然に興味をもってもらえるようなプログラムを実施しています。今回は「川の生き物」に着目したプログラムについて紹介します！

<川に住む生き物と森や海とのつながり「鮎」>

岐阜県はたくさんの山、森林によって豊かな水が育まれています。そのおかげで、岐阜県には多くの淡水魚が生息しており、その数は70種以上とも言われています。今回は長良川を拠点に活動する現役の職業漁師でエコツアーのガイドもされている平工頭太郎さんをお招きして、川の生き物の生態や森と川と海のつながり、さらに長良川の伝統的な漁具のことなどについて語っていただきました。



清流・長良川といえばアユ。ですが、アユ自身は水をきれいにする生き物ではありません。「濁った水は誰がきれいにするのか？」と平工さんは問いかけます。それから、生き物の生態について説明しながら、どんな生き物が水の浄化に関わっているのか教えてくださいました。プランクトンや魚類、水生昆虫、甲殻類、貝類、水草…だけでなく、陸上の昆虫や植物も関わっているとのこと。

多様な生き物が相互に作用するからこそ、長良川は清流であり続けることができるのです！

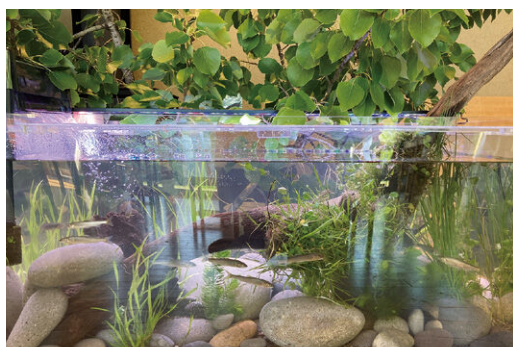
また、川漁師である平工さんは実際の漁具を見せながら、漁の仕方についても説明してくださいました。

春頃に海から川へ遡上する小さなアユを捕まえるのに適したぼうちよう網漁、成長した大きなアユを捕まえる手投網漁、秋頃に川から海へ下るアユを捕まえる瀬張網漁など、その時々のアユの大きさに応じたさまざまな漁の方法があることを教えていただきました。



実は、平工さんは今回のプログラムのために水槽のレイアウトの作成や魚の導入などをしてくださいました。水槽で生き物を飼うには、川の環境を再現してあげるといいこと、川にはどんな生き物がいるかを考えるといいことなども話されました。

この水槽はmorinosの常設展示となります。今後も、平工さんのご協力を得て、長良川の魚たちの様子をご覧くださいませ。ぜひ水槽の魚たちを見てくださいね。



morinos HPでは、こうした日常風景からプログラムまで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

YouTube 検索「morinosチャンネル」

開館時間 10:00～16:00

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

5

生態系保全・再生に係る活動支援(環境部門)

本事業では、貴重な自然環境の保全や特定外来生物の防除など、地域住民と協働で生態系保全に取り組む市町村を支援しています。

ここでは、昨年度支援した中から2つの取り組みをご紹介します。

各務原市 アルゼンチンアリー斉防除 地元自治会の協力による防除

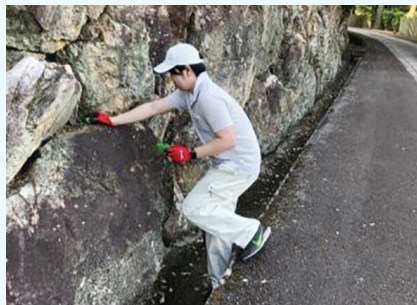
各務原市では、平成19年3月に特定外来生物であるアルゼンチンアリが初めて発見されました。アルゼンチンアリはもともといたアリを駆逐してしまったり、家の中に入ってきて不快な思いにさせたりする害虫です。

◆活動内容

各務原市では、平成24年から地元自治会と協議会を設置し、毎年6月と9月に地域住民による一斉防除を実施しています。また、調査による生息区域の把握など、計画的な防除に取り組んでいます。



協議会の開催



地域住民と協働でベイト剤設置



ベイト剤に集まるアルゼンチンアリ

飛騨市 池ヶ原湿原の環境保全対策 貴重な自然を守るために

生物多様性を保全するためには、希少な動植物などが生息・生育する自然環境を維持する取り組みが重要となります。また、近年、イノシシやニホンジカなどの野生動物による採食や踏みつけによる生態系への影響も問題になっており、その対策も求められています。

◆活動内容

飛騨市では、ミズバショウやリュウキンカなどの貴重な植物が生育している池ヶ原湿原で、外来種のオオバコの駆除や繁茂したヨシの刈り取り作業を、地域のボランティアや団体とともに実施しています。

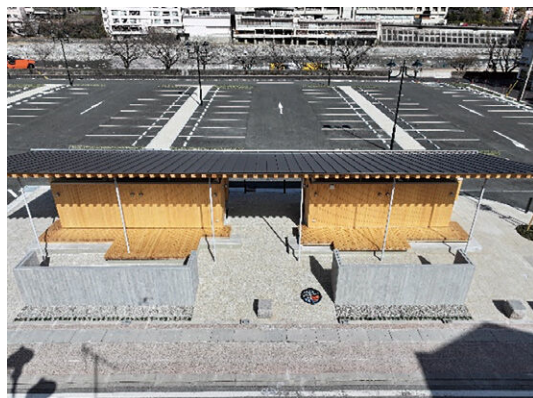
また、イノシシによる被害を防ぐため、岐阜県野生動物管理推進センターの指導のもと、侵入防止柵の設置等の対策を行っています。



野生動物による被害防止対策



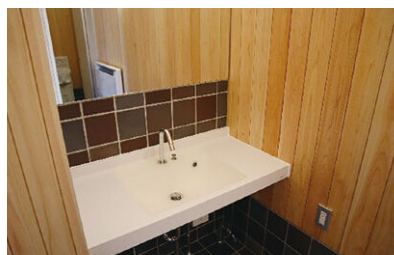
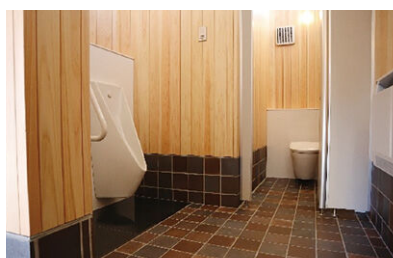
ヨシの刈り取り作業



施設全景

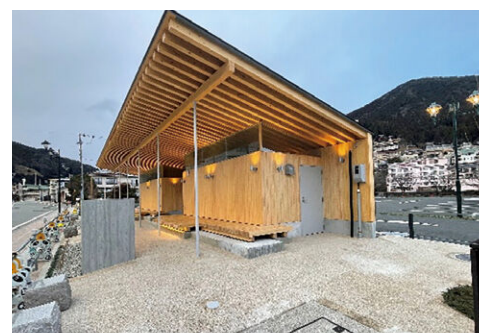
施設の概要

事業年度	令和6年度
事業主体	下呂市
構造 延床面積	木造平屋建 49.34㎡
施設用途	トイレ、休憩所
木材使用量 使用樹種	15.1475㎡ ヒノキ
全体事業費	52,690,000円
助成額	3,000,000円(ぎふ県産材利用促進施設等整備事業)
設計者	大同コンサルタント株式会社
施工業者	松田建設株式会社
工期	令和6年5月29日～令和7年2月28日



施設の経緯

下呂温泉街にほど近い旧下呂温泉病院リハビリ棟跡地に、近年増加する自家用車での来訪に対応するため市営駐車場の整備に合わせて、敷地内に誰もが利用できる公衆トイレ兼休憩所を建設しました。



ここに注目!!

下呂市産材のヒノキを100%使用し、木材の温かみを感じられるデザインとなっています。

また、休憩所ではフリーWi-Fiが利用できる環境を整えています。

利用者の様子

木の香りが心地よく、まるで自然の中にいるような感覚でリラックスできるなど好評の声をいただいています。

そのデザイン性から観光客だけでなく、市民の方にも憩いの場として利用されています。

問い合わせ先

下呂市役所 観光商工部 観光課
TEL 0576-24-2222



森林と人を 生かす知恵 152

つる植物の使い方 造林の厄介者を使う

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 大洞 智宏

つる植物

つる植物は、固い幹で自身を支えながら成長するのではなく、他の植物などにより登りながら成長する植物です。

よじ登る方法にはいくつかのタイプがあり、フジやマタタビのように巻き付きながらよじ登るタイプ（写真1）、ツタ、テイカカズラのように付着根を出し幹などに張り付くタイプ（写真2）、ヤマブドウのように巻きひげを利用するタイプ（写真3）、カギカズラ、ツルグミのように体の一部を枝などに引っかけ寄りかかるタイプなどがあります。

林業とつる植物

植林を行った後は、植えた木がうまく育つように、下刈りなどの保育作業を行います。その中には「つる切り」という作業があります。「つる切り」は苗木の生育を邪魔するつる植物を切断し、つるを幹から取り除く作業です。これを行わないと幹が変形したり、梢部分が曲がっ

たり、つる植物に覆われてしまい光合成が十分できなくなるなど苗木のその後の成長に大きく影響を及ぼします。このため、林業ではつる植物は駆除の対象となってきました。

しかし、同時につる植物は人間の生活には欠かせないものでした。例えば、かずら橋のように大きな構造物や、カゴ、ザルのような日用品を作ったり、繊維を取り出し布を織るなどその利用は多岐にわたりました。

つる植物の利用

昔から様々な種類のつる植物が利用されてきました。では、どんな植物がどのように利用されてきたのでしょうか。代表的なものを紹介したいと思います。

クズ（葛）

根から澱粉をとり、くず粉として古くから利用されてきました。また、「葛布」という布がつるから取り出した繊維で織られてきました。

フジ（藤）

春には各地の藤棚で美しい花が目を楽しませてくれます。また、つるの部分でカゴを編んだり、繊維を取り出して「藤布」と呼ばれる布が織られてきました。

ヤマブドウ（山葡萄）

果実は食用にされるため栽培されジャムやワインに加工されています。樹皮で編まれたかごは高級品として流通しています。

アケビ（木通）

種の周りの甘い部分だけでなく、皮の部分を炒め物にするなど食用にされています。つるはカゴなどを編む材料として使われています。

つる植物は、林業の中では厄介な植物ですが、山沿いの明るい場所などに生える身近な植物です。布を織るのは大変ですが、果実を食べたり、つるでカゴを編んだりするのは簡単にできます。林業での作業のついでや、採取しても良い場所であれば採取して使ってみてはどうでしょうか。



写真3



写真2



写真1

間伐が森林の水源かん養機能に及ぼす 効果の検証（その3）

森林研究所 久田 善純

森林研究所では、間伐の実施が森林の水源かん養機能に及ぼす効果を検証するため、ヒノキ人工林の小流域（白川町にある県有林）にて2016年から2024年までの8年半をかけて調査を行いました。その内容については、当研究コーナー（森林のたよりNo.769・2017年10月号、No.807・2020年12月号）でも紹介しています。今回は流域からの流出水量について検証結果を報告します。

流出水量への効果

間伐（2015年度の冬期に本数率30%の全層間伐）を行った流域と、尾根を挟んで隣にある無間伐の流域（ど



図1 量水堰のようす
(ア) 間伐流域の堰、(イ) 無間伐流域の堰

ちらも面積はおおよそ5ha）の流末にそれぞれ量水堰（図1）を設置し、流出水量を観測しました。

その結果、夏の渇水時において流出水量に差があることを確認しました。調査期間のなかで渇水の期間（ほぼ無降雨の日が連続した期間）が最も長かった2024年を例として図2に示します。上の図（ウ）は一日当たりの流出水量の変化です。それを流量が多い日から順番に並べ直したものが下の図（エ）です（流況曲線といいます）。最も渇水状態にあった8月18日において、無間伐流域と比べて間伐流域の方が流出水量が多いことが分かります。このように、夏の渇水時は間伐流域の方が流出水量が維持される傾向があり、このことは期間中の全ての年次においても同様でした。

既往研究との比較

間伐が水源かん養機能に及ぼす効果について、既往の研究成果では「林地表面に到達する降水量の増加と、林地全体の蒸発散量の減少によって、流出水量が増えること」と説明しています（※1）。また「間伐が渇水時の流出

水量の増加に貢献している」という報告があります（※2）。

この調査では、地表に到達する雨量が間伐流域の方が多いこと（標準地における比較結果、森林のたよりNo.769参照）を確認しており、そ

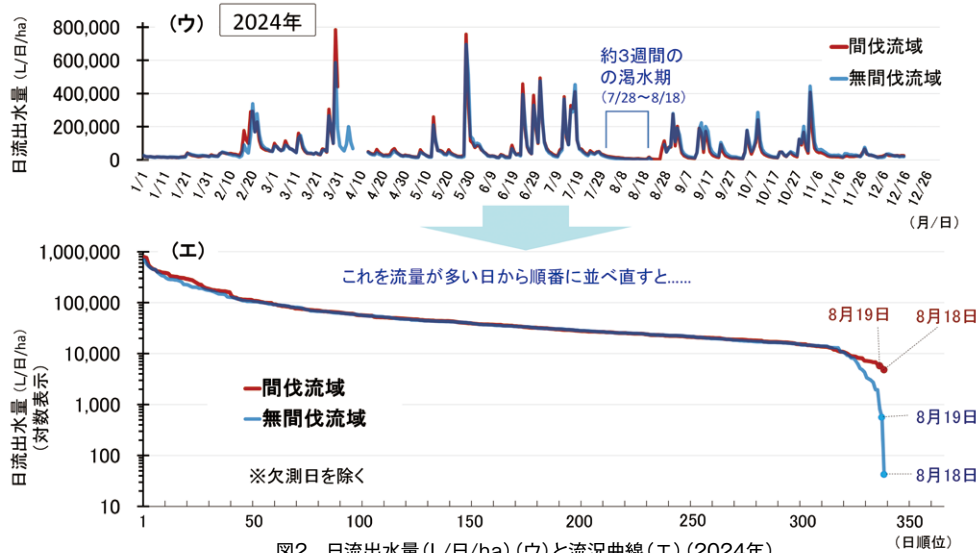


図2 日流出水量(L/日/ha) (ウ)と流況曲線(エ) (2024年)

れは間伐実施から約2年半経過した2018年7月頃まで顕著でした。また、この調査では蒸散量を計測していませんが、調査開始前と期間後半（2023年7月）の毎木調査の結果によると、流域全体の樹冠量は、調査期間中を通して無間伐流域の方が多いことから、蒸散量は常に間伐流域の方が少なかったと推定されます。これらのことから、この白川町における調査結果は既往研究の成果を支持していると言えます。

よって、間伐による水源かん養機能の向上を県内の事業地で確認することができました（※3）。

※1（国研）森林総合研究所・秋田県森林技術センター（2014）森林の水の謎を解く（2） 間伐と水流出 <https://www.fpri.affrc.go.jp/ga/noritonizu2/index.html>

※2 秋田県農林水産部森林整備課（2014）スギ人工林の間伐と森林機能―秋田県長坂試験地における観測結果より―、秋田県林業普及冊子22・111

※3 当該報告の詳細については、岐阜県森林研究所研究報告第54号・23・40を参照してください。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL09575-3333-26855

森林研究所まで

令和7年冬季の降雪による 雪害の発生とその対応について

岐阜農林事務所 林業課 林業普及指導員 吉田 宗平



○管内の森林の概要

岐阜農林事務所管内（岐阜地域）は、岐阜県の南部に位置する6市3町からなる地域です。愛知県と接する南部には、標高が0mに近く都市化が進んで森林が少ない地域がある一方で、福井県と接する北部には標高1000m超の山岳地帯を有した豊かな森林のある地域が多く、非常に変化の幅が大きい地域となっています。こうした中で、地域の森林を適切に整備するために様々な取り組みを行っています。

管内で森林を有するのは、岐阜市、各務原市、山県市、本巣市の4市で、森林面積は約5万9千ヘクタール（森林率59%）、民有林面積約5万3千ヘクタールの9割程を北部の山県市と本巣市が占め、人工林率は県の平均とほぼ同程度の44%です。

管内の人工林は、12齢級にピークがあり、県全体の人工林の齢級構成同様となっています。今後主伐・再造林の取組みを進め、齢級構成の平

準化を進めていく必要があります。

○岐阜地域における主伐・再造林の取組み

岐阜地域においても近年主伐・再造林の取組みが進み、少しずつではありますが新規の植栽地が増えてきました。令和6年度に、管内で公的な補助事業を活用して再造林がされた面積は11・5ヘクタールで、令和5年度から20%ほど増加しています。

一方で、管内の森林にはたくさん二ホンシカが生息しており、植栽した苗木の芽や葉を食べたり、樹皮を剥いで形成層を食べたりすることで、苗木の枯死や樹形異常などの被害が多く発生しています。そのため、苗木を植栽する際には、二ホンシカの食害対策として防除を行うことが必要となっています。

二ホンシカの防除方法は大きく3つあります。

- ①忌避剤の散布 苗木にシカが好まない成分の薬剤を散布し、苗

木を食べられにくくします。

- ②防護柵の設置 植栽地の周囲を柵で囲い、シカの侵入を阻止して苗木を保護します。

- ③単木保護資材の設置 苗木を一本ずつ保護資材で覆って保護するもので、筒状またはネット状の本体と、それを支える支柱を組み合わせて設置します。

○令和7年冬季の降雪について

令和7年の冬季（1月～2月）に管内では例年を上回る降雪がありました。

気象庁のアメダス観測地点である本巣市樽見における、令和7年1月～2月の最深積雪は105センチメートルで、これは過去10年（平成27年～令和6年）で最大であり、同期間の平均値（約55センチメートル）のおよそ2倍になります。

雪解けが進んだ3月下旬以降、特に新植地において、雪による被害が多く発生しているという情報が多く寄せられたため、現地を回って雪害

の状況を確認しました。

○雪害状況の調査結果

確認の結果、管内各地で雪害の発生が確認されました。

- ①山県市内の新植地

令和6年秋に植栽をし、単木保護資材（ネットタイプ）を設置した現場です。単木保護資材のグラスファイバー製の支柱が地際で折れて、多くの苗木が倒伏していました。



- ②本巣市内の新植地

令和5年秋に植栽をし、周囲をシカ防護柵（耐雪仕様）で囲った現場です。

支柱の折損や倒伏、ネットと支柱をつなぐ留め具が破損するなどの被害が発生していました。



③山県市内の間伐施行地
令和2年に間伐を実施したスギ林です。幹の途中から折れている被害が散見されました。



○今後の対応の検討

現場の状況を確認後、特に①の現場については、森林研究所の研究員や、森林文化アカデミーの普及指導員らと現地で今後の対応について検討を行いました。それを踏まえ、被害にあった植栽地については、森林整備事業等を活用して雪おこしを行

うとともに、苗木の損傷が大きいところについては補植等の対策を行うこととしました。

また、雪が多く降った場合に被害を軽減できるように、獣害対策の方法や資材の選び方、維持管理手法などについて、事業体の担当者と検討をして、今後の植栽地に活かしていきます。



○終わりに

事業体の方曰く「こんなにたくさん雪が降ったのは30年ぶり」とのことです。普段あまり雪の降らない地域で、時々今回のような大雪が降ると、雪に慣れていない分、対応も難しくなると感じました。今後もどのような対応をしたらよいのか検討し普及していきたいと思っています。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL058-214-7409

岐阜農林事務所まで

森林技術開発・支援センター
林業普及通信

施業プランナー育成研修開催中

岐阜県では、「森林所有者に対し、間伐や路網整備等の収支を含めた施業提案を行い、森林経営計画を作成・実行監視ができる中核的な人材」を施業プランナー（以下プランナー）と位置付け、育成等の研修を企画・運営しています。

研修はこれからプランナーとして活躍してもらう人に、業務を行う上で必要な基礎的事項を学んでもらう「育成研修」と、すでにプランナーとして現場で活躍している人に、実務で直面する課題について考え、解決するための技術力を身につけてもらう「実践力向上研修」があります。今回は、現在実施している「育成研修」について紹介します。

○研修の概要

日程 令和7年6月3日～令和8年1月28日（全13回）
研修受講者9名（森林組合6名、民間事業体3名）
受講生は、組織の運営上や人材育成のため、自ら仕事の幅を広めたいなどそれぞれの理由で、現在、意欲的に取り組んでいただいています。

○施業計画の作成

第8回（7月15日）の研修から現地演習が始まりました。今回の研修では、「山の見方」や目標林型（収穫時の森林の姿）を定めるための知見を学びました。

以降、二班に分かれて、林分調査、作業道の線形踏査を行い、調査結果を分析し、今回得た知見を生かして具体的に施業計画を作成します。



演習「山の見方」

○今後の研修

9月2日の研修では、共同作業で作成した施業計画を参考に自身の施業地を発表して集合研修を終え、その後は、OJT研修として、職場の上司や県林業普及指導員等の助言を受け、研修生の担当する対象森林の施業計画を作成していただきます。

最終日に研修の成果である施業提案を発表していただき、長期間の研修を終了します。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL0575-3351-2100
森林文化アカデミー
森林技術開発支援センター

普及企画係まで

伊勢神宮 式年遷宮特集

御神木を取巻く今昔

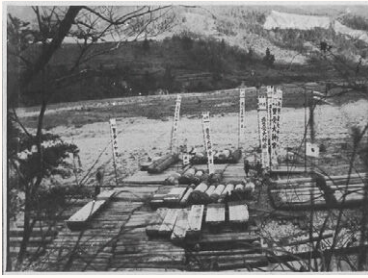
古来より引き継がれてきた式年遷宮の行事においても、時代の流れと共に変わってきたこともあります。

一つ目は、運材方法です。

中津川市(加子母)から伊勢神宮までは、およそ250kmの道のりがあります。御神木の伐採もさることながら、この行程を無事に運ぶことは大変な作業でした。

今から5回前の第58回式年遷宮までは、付知川から木曾川を下り三重県の桑名まで運ばれていました。

当時は山から伐り出された御神木や御用材は一旦、中津川市付知町で集められた後、伊勢神宮からの要望どおりか確認された後、川を下って行つたと言われています。



当時は、一本一本の木材を川で流し、木曾川の川幅がある程度広くなる八百津町にて筏に組まれ運ばれる形で木材は運ばれていました。

第59回式年遷宮では、山には森林鉄道が走るようになり、中津川市付知町から中津川市までは北恵那鉄道が開通し、その先は中央線と、山から伊勢まではレールで繋がりました。

これにより、この回の遷宮では鉄道を使って御用材が運ばれました。

当時の写真では美濃太田(美濃加茂市)でこの御神木を市民の皆様が歓迎する姿が写されています。



第60回式年遷宮からは、現在のよう
なトラック輸送に変わりました。

トラック輸送に変わった現在でも、これまでの輸送で縁のあった八百津町などが御用材運搬のルートとなっていると思われます。

ちなみに、このトラック輸送の命を
いただいた事業者は、このためにトラッ
クを新調されるとのことです。(この時
使用されるトラックの荷台については、
通常の長さより御神木がちょうど収ま
るサイズに改造されるそうです)



二つ目は、御杣山での伐採に係るい
でたちについても時代と共に変わって
きています。

戦前までは白装束に手拭いを頭に巻
いて行ってきたものも、時代と共に動
きやすい作業着姿に、更には安全にも
配慮して保安帽(ヘルメット)を着けて
行うようになると変わってきました。

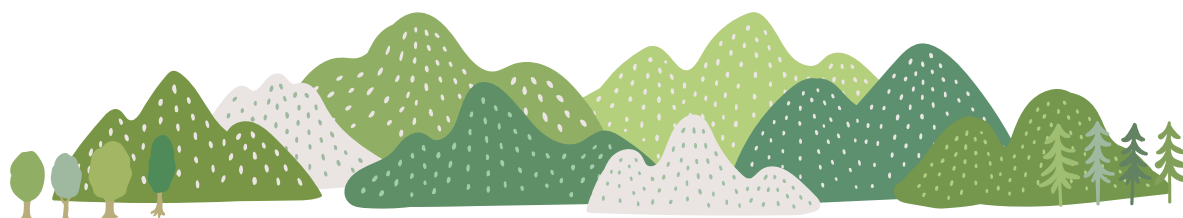


このように変化してきたものもあり
ますが、古来より引き継がれてきた畏
敬の念は、これから先も次の世代へ引
き継がれていくものと思います。

このような森林の管理を任せられて
いる東濃森林管理署としても、末永く
この地から全国各地へ良材が産出でき
るよう心掛けてまいります。

(東濃森林管理署)

開催日	行事名等	内 容 等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
10月2日(木)~ 10月3日(金)~	機械集材装置 運転業務特別教育	●講習時間: 2日 学科 8:50~16:10 3日 実技 8:30~17:40 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 19,500円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	2日(学科) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 3日(実技) 美濃市曾代地内(予定) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月8日(水)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	●講習時間: 学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 11,770円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月28日(火)~ 10月29日(水)	簡易架線集材等 機械の運転業務 特別教育	●講習時間 28日 学科 8:50~16:00 29日 実技 8:30~17:30 ●申 込: 開催日の20日前まで ●受講料: 57,200円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名単位の開催となりますので実技受講者が20名以上の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。)	28日(学科) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 29日(実技) 中濃地内山林(予定) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

これまで森林行政に関わる機会がなかった私ですが、今年4月の定期異動により、岐阜県と郡上市との人事交流で新たな職場に赴任することとなりました。職場環境も業務内容も、まさにゼロからのスタートです。現在は、周囲の皆様に支えられながら、森林環境譲与税や森林経営管理制度に関する事務に日々取り組み、学びを深めているところです。

これまであまり意識することのなかった森林や林業について、業務外でも考える機会が増え、メディアで取り上げられた際には、自然と注意を向けるようになりました。最近では、県が貸し出している木製のおもちゃ「つみあゆ」を、我が子が持っていることに気づき、日常生活の中にも林業が深く関わっていることを実感しています。林業事業者の皆様や森林行政に携わる多くの方々の支えによって、私たちの暮らしが成り立っていることを改めて感じました。

今後は、私自身もその一員として、森林行政の一端を担う責任を胸に、業務に真摯に取り組んでいきたいと思ひます。

「森林のたより」編集委員 森林活用推進課 林 義卓

10月号予定

イベント情報

連載

●山の歳時記(242)

清流と森と親しむ

●森林と人を活かす知恵(153)

木と親しむ

●岐阜県の公共木造建築(150)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

●研究・普及コーナー

市況情報

その他

10月1日
発行

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配
第1887回 岐阜共販所 8月5日	すぎ	3 m	16~18cm	14,600	—	↘
		4 m	16~18cm	14,000	—	→
			20~22cm	14,500	—	→
			24~28cm	14,400	—	→
			30cm以上	13,000	15,800	↘
	ひのき	6 m	16~22cm	17,200	—	↘
		3 m	16~18cm	21,100	—	↘
			20cm以上	18,900	—	↘
		4 m	16~22cm	20,700	—	→
			24~28cm	19,000	—	↘
			30cm以上	18,700	34,200	↘
		6 m	16~18cm	—	—	→
第1485回 飛騨共販所 8月6日	すぎ	3 m	16~22cm	14,200	—	→
		4 m	24~28cm	14,600	—	→
			30cm以上	13,600	—	→
	ひのき	3 m	16~18cm	21,000	—	→
		4 m	20~22cm	20,500	—	→
			24~28cm	19,200	—	→
			30cm以上	—	—	→
		6 m	16~20cm	—	—	→
	ひめこ	4 m	24~30cm	12,000	—	↘
			30cm以上	12,000	—	↘
		5 m	40cm以上	—	—	↘
	くり	4 m	24cm以上	14,000	—	→
第1819回 東濃共販所 8月7日	すぎ	3 m	16~22cm	14,200	—	→
		4 m	24~28cm	14,400	—	→
			30cm以上元	15,000	—	→
	ひのき	3 m	16~22cm	21,300	—	→
			24~28cm	20,000	29,000	→
			30cm以上元	28,000	33,000	→
		4 m	13cm以下	12,000	—	→
			16~22cm	21,300	—	→
			24~28cm	19,800	34,000	→
			30cm以上元	29,000	74,000	↗
		6 m	18~22cm	29,500	—	→
	まつ	4 m	30cm以上元	—	—	→

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ4mの元木、尺上良材は、入札多数で活気あり、価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は保合。ヒノキ元木良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は強含みで引き合いは強い。ヒノキ3m・4m構造材の価格は保合。合板向けの価格は強含みで納材は順調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

連日の猛暑の影響もあり全体的に横ばいで推移しているが、ヒノキの良材には一部、高値がついた。広葉樹は白い材(カエデ、トチ)の引き合いが強い。また、ナラはミズナラが人気である。高値は、ホウ2.1m×40cm@30,000円、クリ2.1m×32cm@30,000円、ヒノキ4.0m×36cm@38,600円 ※連日の猛暑ですので現場作業される方は熱中症にご留意ください。(飛騨)

スギ・ヒノキの出材量は民有林・国有林ともに増加傾向。ヒノキの役物・良材には応札が多数寄せられ、活気がみられた。3m・4m元木・中目良材は、直・小曲り共に地元工務店を中心に引き合いは強い。3m・4m並材は全般に保合で推移。2m尺上材も堅調な引き合いだが、20cm以下の材は弱含み。スギの元木・中目良材は価格保合で推移。目荒などの並材は価格が伸び悩み。4m(24cm以上)構造材は保合、同3mも弱保合。6m長柱向け材(16~20cm)は引き続き好調を維持。合板向けは、価格保合ながらも納材は順調に進んでおり、ラミナ向けもスギ、ヒノキともに活発な動き。(東濃)

記念市11月6日(木)ぎふ優良材展(東濃)、12月3日(水)広葉樹祭り(飛騨)を開催します。

製品卸売標準価格 (7月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	80,000	(3,528)	→
	柱	3000	120	120	特等	75,000	(3,240)	→
		6000	120	120	特等	155,000	(13,392)	→
W集 ウッ ド材	柱	3000	105	105	国産5層	85,000	(2,800)	→
		3000	120	120	国産5層	88,000	(3,800)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (7月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	432	→
米樺	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ボール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

のぶち
野縁

天井仕上げ材を張るための下地材。通常40×30³程度の小割材が用いられることが多い。

これってなあに? ~木材用語~

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典